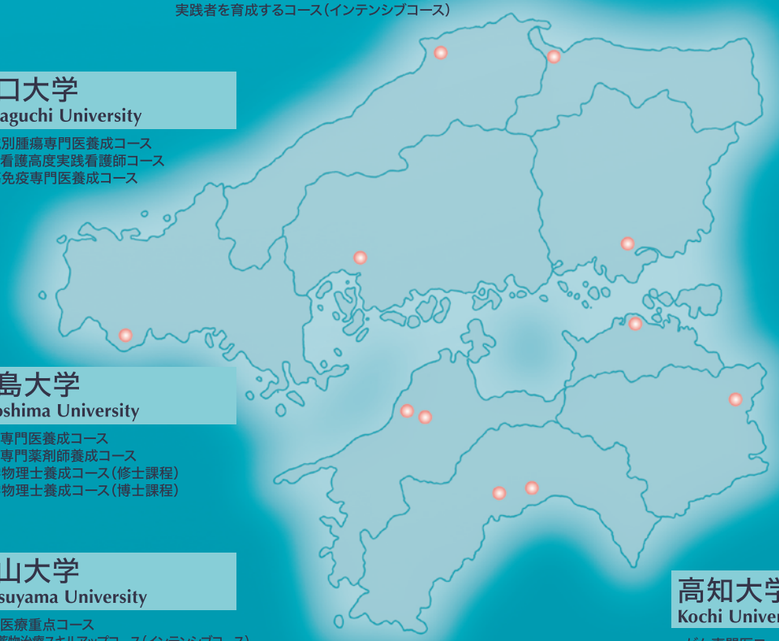
Chu-Shi ACTIVITY REPORT

中四がんプロ活動レポート

Vol.61

Dec. 2023



島根大学
Shimane University

・がん専門医療人育成コース
・山陰地域がん専門医療スタッフ育成コース（インテンシブコース）
・遺伝情報に基づく、ぬくもりのあるがん医療実践者を育成するコース（インテンシブコース）

山口大学
Yamaguchi University

・領域別腫瘍専門医養成コース
・がん看護高度実践看護師コース
・腫瘍免疫専門医養成コース

広島大学
Hiroshima University

・がん専門医養成コース
・がん専門薬剤師養成コース
・医学物理士養成コース（修士課程）
・医学物理士養成コース（博士課程）

松山大学
Matsuyama University

・がん医療重点コース
・がん薬物治療スキルアップコース（インテンシブコース）

愛媛大学
Ehime University

・腫瘍内科系専門医養成コース
・腫瘍外科系専門医養成コース
・放射線腫瘍医養成コース
・基礎/ゲノム実践医養成コース
・がんゲノム医療実践コース（インテンシブコース）
・AYA世代対応妊孕性温存習得コース（インテンシブコース）
・がん治療副作用マネージメントコース（インテンシブコース）

高知県立大学
University of Kochi

・高度実践看護師コース：がん看護学領域
・リカレント教育プログラム：がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師養成コース（インテンシブコース）

鳥取大学
Tottori University

・腫瘍専門医コース
・がん看護専門看護師コース

岡山大学
Okayama University

・包括がん研究者・研究医養成プログラムがん研究医コース
・医学物理コース
・がんゲノム医療人育成コース（インテンシブコース）
・医学物理コース（インテンシブコース）

香川大学
Kagawa University

・がんプロフェッショナル養成コース（医師）
・がんプロフェッショナル養成コース（メディカルスタッフ）
・地域がん医療人共育コース（インテンシブコース）

徳島大学
Tokushima University

・がん薬物療法専門医（腫瘍内科医）コース
・臨床腫瘍外科学コース
・臨床腫瘍放射線医学コース
・臨床腫瘍薬剤師コース
・高度実践がん看護学コース
・臨床腫瘍栄養学コース（博士前期課程・博士後期課程）
・医学物理学コース

高知大学
Kochi University

・がん専門医コース
・がん専門薬剤師コース
・がん医療における支持療法を担う地域がん専門医療人育成コース
～がん薬物療法における支持療法と緩和ケア～（インテンシブコース）
・放射線治療・緩和的放射線治療医コース（インテンシブコース）

http://www.chushiganpro.ccsv.okayama-u.ac.jp/

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム　Vol.61

□ 編集兼発行者
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム事務局
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL：086-235-7812／FAX：086-235-7045
ganpro@adm.okayama-u.ac.jp

□ 印刷所
有限会社 ファーストプラン

Mid-West Japan
Cancer Professional Education Consortium
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

中国・四国地域に位置する11大学がコンソーシアムを形成し、各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これに地域のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的としています。

地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成

令和５年６月に、中国・四国地方9県全域にわたる11大学が連携する「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」プロジェクトが文部科学省の「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業に採択されました。

本事業は、第4期がん対策推進基本計画が目指す「誰一人取り残さないがん対策」を推進できる人材育成を目指しております。がん患者数の増加、治療の進歩に伴い医療の現場で顕在化している課題やがん予防の推進、新たな治療法の開発は重要課題となっており、中国・四国地方においても高いレベルでそれらを理解し、適切な医療を提供できる医療人の養成が必要とされています。さらに、がん患者の求める全人的医療を実践するためには、各々が高度な技術と知識を持った上で、チームとして連携し、がん診療を提供する多職種連携教育が重要となります。

本事業では中国・四国の11大学が参画するコンソーシアムを組織し、上記課題に対応できる卓越したがん専門医療人の人材育成にあたります。

当コンソーシアム事務局では、講演会、国内外の施設への研修など、コンソーシアムの活動情報を広く発信することを目的とした中四がんプロ活動レポートの発行を行っています。

本誌をきっかけに、大学院入学や各種セミナーへの参加等をご検討いただければ幸甚に存じます。

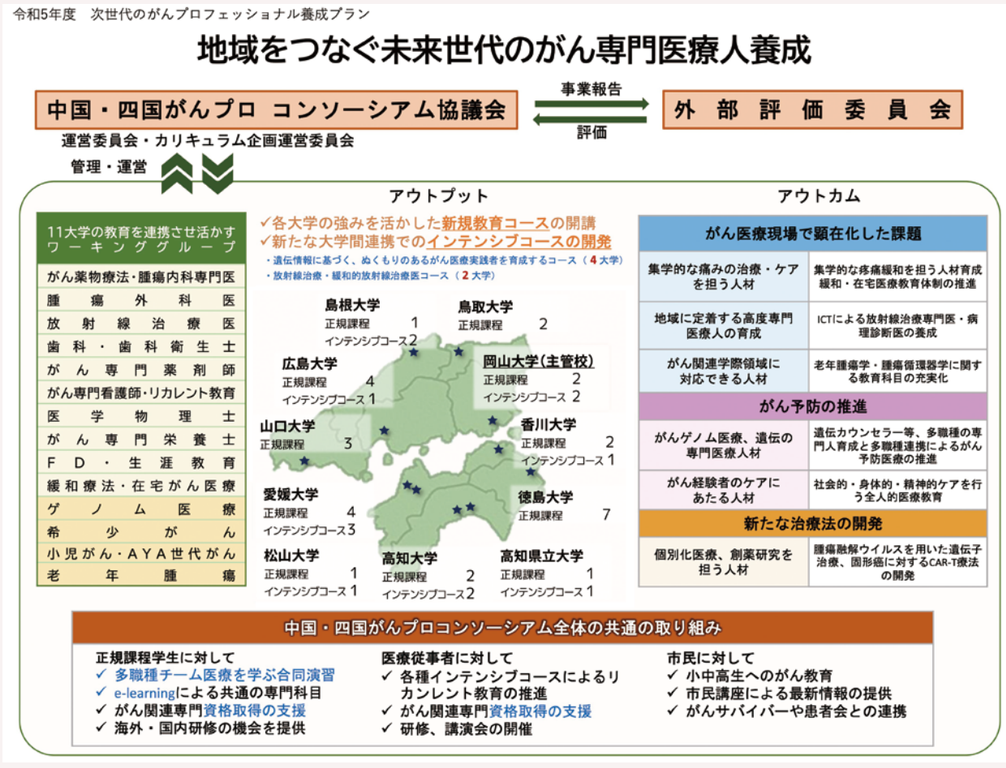
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
事務局

Business summary

事業の概要

がんは1981年以降、わが国の死因第一位の疾患であり、生涯のうちに約2人に1人が罹患すると推計されています。がん対策推進基本計画の発出と歩調を合わせてきた本事業は、がん専門医療人の養成を目的に平成19年に第1期がスタートし、平成24年に第2期、平成29年に第3期と続き、今回は第4期となります。連携大学で形成する「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム」も、第1期の8大学から、第2期では10大学、そして今回第4期は新たに鳥取大学、島根大学を加えて11大学と進化してきています。

今回の「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」では、過疎地での放射線治療や病理診断を担う専門医を養成するとともに、オンライン診療技術なども取り入れて連携体制を構築します。本拠点で推進してきたチーム医療による患者本位の全人的医療教育を発展させます。また、高齢者がん・緩和・在宅医療教育体制を再編し、老年腫瘍学・腫瘍循環器学の教育科目を充実させ、新たな関連分野にも対応できる医療人を育ててまいります。がんゲノム医療にユニバーサルスクリーニングを導入し、がん予防医療を推進できる医師やメディカルスタッフを養成します。さらに、本拠点が得意としてきた遺伝子治療の創薬研究や免疫療法の開発を発展させ、医薬品や医療機器開発を推進する人材を輩出します。チーム医療やがん看護リカレント教育、医学物理士養成など、本拠点の強みをさらに発展させ、中国・四国のがん医療の均てん化に努めてまいります。



事業内容ポンチ絵

Okayama University

ご挨拶

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム代表
岡山大学学術研究院医歯薬学域　消化器外科学　教授
藤原　俊義

この度、令和5年度大学教育再生戦略推進費「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業に、中国・四国地方の11大学が連携する「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」プロジェクトが採択されました。申請に際しまして、ご支援、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げますとともに、これから6年間、がん専門医療人の養成を目的に本事業を皆様と発展させていけることを嬉しく思っております。

本事業は2007年にスタートし、3期15年を経て、本コンソーシアムでは学生・教員が一同に会するチーム医療合同演習やICTを活用したeラーニングなど、幅広く多彩な大学連携体制を構築してまいりました。今回の申請に際しては、新たに鳥取大学、島根大学に加わっていただき、中国四国地方9県が一体となった拠点形成が実現できました。今後の第4期事業を推進する上で、代表として大きな責任を感じ身の引き締まる思いであります。

国が定める第4期がん対策推進基本計画では、「誰一人取り残さないがん対策」を全体目標としており、がんプロ事業では1）がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、2）がん予防の推進を行う人材、3）新たな治療法を開発できる人材などの育成強化を推進していくこととなります。本コンソーシアムでも、第3期事業で構築してきたがんゲノム医療や希少がん、小児およびAYA（Adolescent and Young Adult）世代がん、高齢者がんなどのライフステージに応じたがん対策などに関する教育システムは維持しつつ、これらの新たな分野別目標の実現に向けた基盤整備を行ってまいります。

岡山大学では、がんに関する基礎から臨床までを幅広く学べる「包括がん研究者・研究医養成プログラム」を立ち上げており、がんプロ事業では特に「がん研究医コース」を推進してまいります。集学的な緩和ケアを実践できる人材育成のために進めてきた全人的医療教育を継続するとともに、緩和的使用を含めた高度な放射線治療を実践できる放射線治療専門医を積極的に養成し、がん診療連携拠点病院への配置を進めることで、県北や離島などの過疎地でも標準的ながん治療が受けられる環境整備に努めてまいります。また、「医学物理コース」を充実させ、多職種連携・チーム医療を担う医学物理士や放射線治療専門診療放射線技師などに、人工知能（AI）技術やビッグデータ解析などの高度専門教育を提供します。がん予防の観点からは、インテンシブコースとして「がんゲノム医療人育成コース」を通年で実施し、実地臨床となったがんゲノム医療をさらに発展させることが出来る人材育成を行ってまいります。さらに、新たながん治療を開発できる人材としては、岡山大学では遺伝子治療や中性子補足療法の創薬研究、CTガイド下穿刺を行うロボット医療機器などの開発研究を推進してきており、それらの臨床研究・臨床試験に参画してもらうことで革新的医療技術開発に関する教育環境を充実させていきたいと思っております。

がん医療も多様化してきており、それに対応できるがん専門医療人育成には、第4期がん対策基本計画の新たな視点を加えた教育コンテンツを整備するとともに、連携大学の特徴を生かした魅力あるカリキュラムを推進いただくことが重要です。皆様のさらなるご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

Ehime University

留学の勧め

愛媛大学医学部　臨床腫瘍学
薬師神　芳洋

令和5年、「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン（第4期がんプロ）」が開始されました。これから6年間、中国四国がんプロコンソーシアムの活動が始まります。本誌では恐らく、複数の教員から中国四国がんプロの将来に向けての活動や、学生諸君を鼓舞する文章が載るものと想像します。しかしここはあえて、別の視点から皆さんへの期待を述べたいと思います。

最近、英国リーズ大学の社会学者から、欧州人の移動やライフ・スタイルに関する興味深い報告がありました（「ユーロスターとユーロシティ」）。同書によると、欧州を股にかけて活躍する人材の多くが地方都市出身で占められ、一定の国家に安住するのは、同じ地域や大学で学んだいわゆる都会出身のボンボン・エリートが多いとのことです。「なるほど」と納得するのは、私どもの大学においても、いわゆる中高一貫教育の有名進学校よりも地方や僻地出の学生に気骨ある若者が多く、卒後に「化ける」輩が多い様に感じているからです（もちろん例外もあり、ステレオ・タイプの解釈に反論されるかもしれませんが…）。こういった学生ほど、「海外を見てみたい留学したい」と寄ってくるような気がします。私自身に気骨があるかどうかは横に置いて、田舎（愛媛県北宇和郡津島町）に育ち、卒後は海外見たさで基礎医学と臨床で2度ばかり渡米し現在に至りました。新たな世界を見てみたいという「ど」田舎者の欲求は確かにあったと思っています。「愛媛で育ち、愛媛で学び、愛媛しか知らないものを井の中の蛙というのです」と送り出してくれた当時の教授に、ただただ感謝です。

さて皆さん、当がんプロでは「地域のがん診療の均てん化と進展」をうたっています。しかしながら皆さんは、地域と言わず国内の、イヤ世界のがん医療の進展に貢献する志を持ってください。その為にも卒後の留学をお勧めします。それは、欧米の先進医療や基礎医学（日本が劣っているとは思いませんが）を体験することにつながります。また、日本で失われつつあるギラギラした同輩と、学問で一戦を交えることも、良い経験になるはずです。海外の異なる環境で、人や医学・医療を学び、グローバルな視点を持って帰ってきた皆さんと仕事が出来ること、それが私の夢でもあります。

さて、中国四国がんプロのキャッチ・フレーズは今回、「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」。がんプロ大学院生の皆さん、次のステップ（留学）を目指して頑張ってみませんか？

皆さんの健闘を期待しています。

Kagawa University

中国・四国から発信するがん医療

香川大学医学部　臨床腫瘍学講座　教授
附属病院　がんセンター長
辻　晃仁

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム（以下　中四がんプロ、主幹校：岡山大学）は中国・四国地方9県の11大学が連携して各大学院に多職種のがん専門医療人養成のためのコースワークを整備し、これにそれぞれの地域のがん診療連携拠点病院が連携することにより、広い地域にムラなくがん専門医療人を送り出すことを目的として形成する広域連携組織です。香川大学は、第一期より中四がんプロに継続して参加させていただいており、大学院医学系研究科(医学専攻）『高度医療人育成コース』に「がんプロフェッショナル養成コース」を設置しています。

中四がんプロのプロジェクト「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」が令和5年度「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に、第4期として採択されました。

第4期中四がんプロにおきましては、本学はこれまでに引き続き「緩和療法・在宅がん医療」、「老年腫瘍学」ワーキンググループを主導していくことに加え、さらに小児／AYA世代がん、希少がん、がんゲノム医療などについても活動を広げ、充実させていきます。これにより適切な医療を提供できる医療人を育成するとともに、さらに多職種がチームとして連携し、より良いがん診療を提供できるための教育・環境整備を行ってまいります。

急速な高齢化社会の進展で、がん医療を取り巻く状況は日々大きく変容してきてはおりますが、香川大学は中四がんプロの基幹大学として中国・四国地方のがん医療の発展に貢献してまいります。

Kochi University

“Glocal Medical Staff”の育成をめざして

高知大学医学部
医療学講座医療管理学分野　教授
小林　道也

この度、令和5年度の「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」では「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」を掲げて岡山大学を主幹校に、中国四国の11の連携大学の一つとして高知大学も参加させていただいています。中国四国のコンソーシアムによるがんプロには平成19年の開始当初から参加させていただいていますが、初めの3期はそれぞれ5年間の事業として行われました。厚労省のがん対策推進基本計画が第3期から6年毎に検討を加えることになったため、第3期のがんプロが5年間で終了しましたが、その翌年、第3期がん対策推進基本計画が6年目に入ることから、今回の第4期のがんプロは第3期終了後、1年間はがんプロの事業としては行われませんでした。この空白の1年でも、中四の各大学は連携を維持し、国からの助成がない状況にもかかわらず、自助努力で活動を維持してきました。

この3期の間に高知大学医学部・附属病院には、がんプロ以前にはなかった放射線腫瘍学講座・放射線治療科、腫瘍内科学講座・腫瘍内科、緩和医療科が新設されました。研究面、臨床面でもさらに充実してきています。

私たちが重要視している地域貢献の一つとして、これまで市民公開講座を開催してきましたが、コロナ禍には参集型の市民公開講座が開催できないことが危惧されたため、通常行うオンラインの講座だけでなく、高知県（行政）やメディアと協力して2020年度から今年度で4年連続、がんに関するテレビ番組を作成し、多くの県民の皆様にご視聴いただいています。この番組は高知県、RKC高知放送、高知大学医学部附属病院、そのほかの拠点病院のホームページにビデオクリップとしてアップしており、いつでも県民の皆様にご視聴いただけるようにしています。また、高知大学医学部では若年者（小・中・高校生）へのがんの出前教育を2013年から継続的に行っており、ここ数年は年間12回以上の授業を行っています。コロナ禍にはオンライン授業を活用して行ってまいりました。

高知大学はSuper Regional University を目標に掲げています。高知大学医学部では長年のハワイ大学医学部や台湾大学医学部との交流、またブラジルでの内視鏡外科手術支援、ウズベキスタンでの教育、さらに太平洋島嶼国への医療支援などのノウハウを通じて、“Glocal Medical Staff” (Medical staffs who contribute to local with global mind) の育成を目指していきたいと思っています。国際的な視野を持ちながら、あくまでも地域へ貢献するがん専門医療人を育成していきたいと考えています。

University of Kochi

がんプロ第4期における専門性の高い看護職者の養成に向けて

高知県立大学大学院看護学研究科
がん看護学領域　教授
藤田　佐和

がんプロ第4期「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムが申請した「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」事業が採択されたことをうれしく思います。

本学は、がんプロ第1期がスタートした2007年から現在まで、本コンソーシアムのがん高度実践看護師コースの幹事校として参加させていただいています。そのなかで大学院生や地域の看護職の皆様、そしてコンソーシアム内の医療従事者の皆様から多くの学びの機会をいただき、私自身が成長することができたと実感しております。これまでご協力・ご支援いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

第4期では、これまで築いてきました中国・四国の皆様、全国のがんプロ関係者とのネットワークを大切にし、「誰一人取り残さないがん対策」において、がん医療に携わる看護専門職として担う役割を見極め、前進してまいりたいと思います。がん医療は、今後ますます、私たちが思う以上に急速に進歩・進化し、また、社会経済システム、グローバル化、人口問題など、さまざまな事柄に影響を受けて変化していきます。多様性への対応が求められます。がん患者さんやご家族のおかれている状況も時代とともに変化し、人々のニーズもさらに多様になり、求められるがん医療・看護は変わっていきます。看護は、時代が変わっても本質的には変わらないものと状況に合わせて変えていかなければならないもの、今求められているものと未来に向かって創っていかなければならないものがあります。広域にわたる中国・四国地方は、中山間地域が多く、過疎化、少子高齢化はさらに加速します。コロナ禍で普及したオンライン等を活用し、多職種協働のもと今ある多様なニーズに応えることができる看護専門職、将来を見据えて新たな分野に対応できる看護専門職の養成に尽力したいと思います。

高度実践看護師コースにおいては、徳島大学、山口大学、鳥取大学とともにがん看護専門看護師の養成を継続します。第1期から本コンソーシアムのもと、「中国・四国全域にがん高度実践看護師を送り出す取り組み」を展開してまいりましたが、未だ数や均てん化において全国レベルには達していません。次世代を担う専門職者を数多く排出できるよう努めます。また、これまでのがんプロ修了生や専門性の高いがん看護実践を目指す中国・四国地方9県の方を対象に、リカレント教育プログラムとして、がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師養成コース（インテンシブコース）を新たに開講いたします。がん医療や介護の分野で潜在化している課題やアンメットニーズに対応できる専門性の高い看護職、がんサバイバーの身体的・精神的・社会的ケアや再発予防のがんサバイバーシップケアを強みとする看護職等、次世代のがん医療や看護をリードできる未来世代の看護職の養成に努めます。がん医療がいかに進化・深化して患者さんやご家族のおかれている状況が変化しても、がんと共に生きることを支える看護を多職種と協働して創っていくことができると考えています。さらに、高度実践看護師WG講演会、がん医療に関わるセミナーや特別講義、がん教育やコンサルテーション等、地域の皆様の多様なニーズに応えるべく活動を行ってまいります。

今後とも、中国・四国のがん医療充実のためにがん専門医療人の養成が継続できますように、皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

Shimane University

臨床遺伝学、老年腫瘍学、腫瘍循環器学などに力を入れたがん専門医療人の育成

島根大学医学部附属病院　先端がん治療センター/腫瘍内科
田村　研治

この度、第4期「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業（「がんプロ」）において、中国・四国地方9県の11大学が連携した、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムのプロジェクト「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」に、島根大学も参画することができ大変うれしく思います。

島根大学は、「がん地域医療」、「老年腫瘍学」、「腫瘍循環器学」、「臨床遺伝学・がんゲノム医療」、「がん薬物療法専門医、専門医制度」などで、専門的研究、学会活動、ワークショップなどの実績があり、他大学と連携して進めて参りたいと思います。

島根大学では、主に大学院生を対象とする正規課程コースを1つ、医師、看護師、薬剤師、メディカルソーシャルワーカー、認定遺伝カウンセラーなど医療スタッフを対象としたインテンシブコースを2つ開始いたします。

正規課程コースの名称は、「がん専門医療人育成コース」です。これは、がん医療に関する高度な専門知識と技術を有し、多職種・多診療科と連携し、チーム医療の担い手となる医師を養成します。現在、３名の方がこのコースを受講し、医学博士、及び、がん専門資格の取得を目指しています。

１つ目のインテンシブコースの名称は、「遺伝情報に基づく、ぬくもりのあるがん医療実践者を育成するコース」です。これは、島根大学、岡山大学、香川大学、鳥取大学の４大学で取り組むコースで、特に、昨今、日常がん診療で必要とされる、腫瘍遺伝学、がんゲノム医療、ライフステージごとのがん医療について、高い水準の医療従事者の育成を目指します。腫瘍遺伝専門医、遺伝性腫瘍専門医、遺伝看護専門看護師、認定遺伝カウンセラーなどの資格取得を目指します。

2つ目のインテンシブコースの名称は、「山陰地域がん専門医療スタッフ育成コース」です。これは、山陰地域でがん医療に携わる医療従事者を対象にしたコースです。年に1～2回程度の集中セミナー、WEB講義、eラーニングを組み合わせて、日常業務に支障がない形で、しかも専門的な教育を受けられる内容を目指しています。

令和5年11月11日、「遺伝情報に基づく、ぬくもりのあるがん医療実践者を育成するコース」の履修科目となる、セミナー（図1, 遺伝医療の世界へようこそ）と、シンポジウム（図2, 遺伝医療を知りがん死を減らす!! 写真１）を開催することができました。島根県、鳥取県、岡山県から、現地出席者約40名、WEB参加者約120名の出席を頂きました。現在問題になっている、遺伝性腫瘍に対する多遺伝子パネル検査（MGPT）について、その詳細と、現場での問題点についてディスカッションいたしました。

今後も、地域から、多くのがん専門医療人を育成していきたいと思います。

写真1：シンポジウム受講風景

図1：セミナー

図2：シンポジウム

Tokushima University

第４期がんプロを成功させるために

徳島大学大学院医歯薬学研究部　消化器内科学
高山　哲治

第4期がんプロが採択され大変嬉しく思っております。これもひとえに、岡山大学をはじめとする中国四国がんプロの各大学がこれまで積み重ねてきた実績と、今回の第4期がんプロの計画立案、教育内容が優れていた、ということに尽きると思います。第4期がんプロでは、1）がん予防、2）がん医療(医療提供体制、小児・AYA世代がん、新規医薬品の実装化）、3）がんとの共生(両立支援やサバイバーシップ）などがテーマになっています。徳島大学では、1）がん予防では、AIを駆使したX線・内視鏡画像診断などの教育・研究、2）がん診療にかかわる医学物理士、病理検査技師、管理栄養士などの育成、ゲノム医療にかかわる人材育成・研究、3）がんとの共生では、両立支援、サバイバーシップに関連した教育・研究、などを行いたいと考えております。中国四国がんプロの一環として、少しでも多くの実績を残したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

徳島大学では、がん薬物療法専門医コース、臨床腫瘍外科学コース、臨床腫瘍放射線医学コース、臨床腫瘍薬剤師コース、高度実践がん看護学コース、臨床腫瘍栄養学コース、医学物理学コースなど幅広く学生を募集しています。1）～3）のテーマについて、幅広い領域の大学院生及び教員が他大学の学生・教員とも交流しながら、教育・研究を進めていくことができればと考えております。

ところで、2023年10月6日、7日の両日、徳島市にて第15回チーム医療合同演習を開催させて頂きました。（写真1､2）テーマは、「がん治療とサバイバーシップ支援」でした。新型コロナ感染が収束し、4年ぶりの現地参加型のチーム医療合同演習となりました。全体で61名の方にご参加を頂きました。とくに岡山大学からは約30名のかたにご参加頂き厚く御礼を申し上げます。中国四国がんプロとして、ますますこのような交流が深まることを期待しております。

写真1：特別講演

写真2：ワークショップIIの様子

Tottori University

鳥取大学で取り組む正規課程のご紹介

令和5年度から第4期がんプロ「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」事業に参加させて頂くことになりました。鳥取大学医学部を代表し、主幹の岡山大学をはじめとした連携計11大学の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

がんプロは国が定める「がん対策推進基本計画」の人材育成強化として取り組むべき施策とされており、アウトカムとしてがん専門医療人材数の増加が求められています。当大学では「腫瘍専門医コース」「がん看護専門看護師コース」の2つの正規課程を開講し、少しでも多くのがん専門医療人材を育成すべく、令和6年度4月からの受入に向け鋭意準備を進めております。

「腫瘍専門医コース」においては、鳥取大学医学部附属病院がんセンター教育部門が講義と実習を担当し、専門医資格取得をはじめとした幅広い支援を行います。実習においては当院の強みである多職種多診療科連携による充実した臓器横断型キャンサーボード・カンファレンスへの参加が含まれており、包括的ながん医療の担い手となる人材の育成を目指します。またFD研修として、共同意思決定（SDM）研修、アドバンスケアプランニング（ACP）研修、国内緩和ケア中核施設の短期見学研修なども企画しており、地域で不足している緩和ケア医の育成にも力を入れていく予定です。

「がん看護専門看護師コース」においては、がんと診断された時から亡くなられた後まで、がん患者とその家族に対して卓越した看護を提供できるがん専門看護師養成を目指します。近年のがん診療の飛躍的な発展による治療成績の向上に伴い、がんとともに生きていく期間が長くなり、様々な生活の場でより良い日常生活を営む権利を保障することが重要視されています。診断時からの緩和ケアに加え、社会生活の維持を見据えたアピアランス支援、在宅での食支援をはじめとする生活支援、遺伝カウンセリングに関する知識を持ちがんゲノム医療まで対応できる専門的ながん看護のエキスパートを育成することを目標にしています。

両コースとも、教育の質を保つべく多くの教員がかかわり、学生の学習環境を向上すべく尽力する所存です。この度、中四国のがんプロの仲間に加えていただき、他大学の担当教員の先生方とも連携し情報交換をすることで、学生の学習環境をより良いものにしていきたいと考えています。学生が他大学で同様の学習をしている学生との交流を持てる機会もできればと期待しています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

鳥取大学医学部長
大学院医学系研究科長
景山　誠二

鳥取大学医学部附属病院
がんセンター長
小谷　昌広

鳥取大学医学部保健学科
成人・老人看護学講座教授
中條　雅美

Hiroshima University

広島大学のがん専門医療人養成について

広島大学　大学院医系科学研究科　分子内科学　教授
広島大学病院　呼吸器内科　診療科長
服部　登

中国・四国地方9県全域にわたる11大学が連携して、「誰一人取り残さないがん対策」を推進できる人材育成を目指す「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」事業への参画にあたり、広島大学を代表してご挨拶申し上げます。

広島大学は、2012年から岡山大学を主幹校とする中国・四国地方のがんプロ養成プログラムに合流いたしました。2019年春には、医学・歯学・薬学・保健学が融合し、国際的に活躍できる人材養成や学術の高度化・複合化に対応できる研究活動を活性化し、新しい知の創造を目指した大規模プロジェクト研究を推進する組織として、大学院医系科学研究科が本学内に設置されました。今年度の中国・四国がんプロコンソーシアムには、2019年以降と同様に大学病院、原爆放射線医科学研究所と連携しながら大学院医系科学研究科が参画いたします。医系科学研究科として中国・四国地方のがんプロ養成プログラムに参画してきた2019年から2022年までに、14名のがん薬物療法専門医、51名のがん治療認定医、1名のがん薬物療法認定薬剤師、22名のがん看護専門看護師を含む計290名を超える方々ががん関連の専門資格を取得してまいりました。これらの数字はがん専門医療人養成における広島大学の貢献を示すものではないかと自負するところですが、今回も「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」事業への参画を通じて、引き続きがん専門医療人の育成に尽力していく所存であります。

本年度から始まった「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」事業においては、広島大学医系科学研究科からは、修士課程としての「医学物理士養成コース」、博士課程としての「がん専門医養成コース」、「がん専門薬剤師養成コース」に加えて、新たに博士課程として「医学物理士養成コース」、インテンシブコースとして「医学物理士臨床研修課程」を設置することを目指しております。これらは、がん治療に関わる医学物理士の養成に大きく貢献してくれるものと期待しております。さらに、「がん専門医養成コース」、「がん専門薬剤師養成コース」を通しては、ゲノム医療、化学療法、放射線療法、外科療法、緩和・終末期医療について高度な技術と知識を有するがん専門医、がん専門薬剤師を養成できるものと考えております。

広島大学は、本学の特色を生かしつつ、本事業にご参加の大学の皆様とも連携しながら、中国・四国地方における「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」に貢献できるものと信じております。皆様からのご指導ご鞭撻を賜れることを祈念しつつ、これをもって広島大学からの本事業参画へのご挨拶にかえさせていただきます。

Matsuyama University

薬剤師のための医療薬学研究科として
ー中国・四国がんプロ第４期に向けて―

松山大学大学院医療薬学研究科長
天倉　吉章

松山大学薬学部医療薬学科（6年制）は、2006（平成18）年に愛媛県初の薬学部として開設され、これまで12回の卒業生を送り出し、その多くは愛媛県内を中心に病院、薬局の薬剤師として地域医療に貢献しています。また、本学大学院医療薬学研究科医療薬学専攻（4年制博士課程）は、2014（平成26）年に開設され、修了生は学位取得後、大学教員や病院薬剤師等として活躍しており、現在も社会人（病院薬剤師）3名を含む大学院生5名が在籍し、学位取得に向けて日々研究に取り組んでいます。本大学院医療薬学研究科の大きな特徴の一つは、薬剤師資格を有することが出願資格になっているところです。それゆえ、薬剤師のための大学院として、卒業生を含む愛媛県内の病院・薬局薬剤師が希望する学びに広く対応した基礎から臨床に至る多様な研究テーマを有し、社会人が働きながら学位取得できるよう環境が整備され、高度医療に貢献できる研究マインドを備えた薬剤師育成の拠点であることを使命と捉えています。その軸の一つとして、「がんプロ」が担うがん薬物医療に関する教育・研究活動を展開していければと考えます。

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムには2017（平成29年度）年度から参画させていただき、それに伴い、2018（平成30年）4月から大学院医療薬学研究科の一般コースに加え、がん専門薬剤師養成コース（2019年より、がん医療重点コースに改編）を開設しました。これまで1名が本コースを修了して学位取得後、病院薬剤師として活躍しています。また、薬剤師向けにがん薬物療法スキルアップコースを開講し、さらに講演会として「がんプロ公開講座」を年2回実施し、現在第12回目になっています。幸いにも、新たにスタートした第4期にも参画させていただき、これまで実施してきた活動をさらにベースアップしていく所存でございます。

第4期におきましても、大学院医療薬学研究科にがん医療重点コースを開講し、本コースを修了した博士号取得者の輩出を目指します。また、実践的内容でがん医療における最新の動向を学ぶことを希望される薬剤師のために、がん薬物療法スキルアップコース（インテンシブコース）を平日夜や土曜日に集中した昼夜開講制コースで開講します。このインテンシブコース（半年間）では、大学院医療薬学研究科の開講科目「がん医療薬学特論」（2単位）の履修と講演会の聴講を受講条件としています。その講演会については、薬剤師や薬学生を主対象とした「がんプロ公開講座」を年2回開催する予定です。がん医療実践、　がん基礎研究をテーマとし、継続して学べる機会を提供することで、地域薬剤師の自己研鑽のためのツールとしての役割を担います。

コンソーシアムメンバーの一員として小規模で微力ではありますが、「がん医療の現場で顕在化している課題に対応する」、「がん予防の推進を行う」、「新たな治療法を開発できる」薬剤師の育成に少しでもつなげていけるよう努めていければと存じます。そのためには、皆様のお力添えが必要になります。ご理解、ご協力を仰ぎ、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

Yamaguchi University

これからの地域に求められるがん医療を目指して

山口大学大学院医学系研究科　消化器・腫瘍外科学
新藤　芳太郎

山口大学医学部附属病院は、1944年に山口県立医学専門学校としてスタートし、1967年に国立大学に移管され、現在はベッド数756床、30診療科と24診療部を擁する山口県唯一の特定機能病院です。2007年１月には、山口県がん診療連携拠点病院に指定されており、山口県全体のがん治療の中心的役割を担っています。外来腫瘍治療部門及び院内がん登録室を統括するため腫瘍センターを2006年に設立し、外来化学療法室の整備、緩和ケアセンター、がんセミナー（キャンサーボード）や市民公開講座などを開催しております。

本学は、第1期から「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム」に連携大学として参加しており、従来の大学院における専門分野での臨床・研究活動に加えて、「外科系腫瘍専門医コース」、「内科系腫瘍専門医コース」、「放射線腫瘍専門医コース」、「がん看護専門看護師養成コース」を大学院課程に開設し、高度な専門知識を持ち、多職種によるチーム医療を実践できる「がん治療専門医療人養成プログラム」に取り組んできました。これまで、多職種の大学院生70名が入学し、35名ががん薬物療法専門医、がん治療認定医、がん看護専門看護師など、何らかのがん専門資格を取得しています。

私自身は2010年より本学のがんプロ大学院生として、「外科系腫瘍専門医コース」に進学しました。消化器外科医として臨床現場でがん診療に携わりながら、基礎研究との両立を図っていました。その中で、がんプロ主催の講義、e-learning、セミナー等を通じて最新の知識を効率よく学ぶことができました。昨今のCOVID-19感染の影響でweb開催が多くなったチーム医療合同演習ですが、当時は現地開催でワークショップを行い多職種・他大学の大学院生や教員との交流を深め、患者さんに対する見方や考え方が異なることを認識し、チーム医療の重要性について学ぶことができました。がんプロを修了し現在、私は肝胆膵外科医として診療に従事し、消化器・腫瘍内科医、放射線科医等とカンファレンスを行いながら患者さんに対する最善の治療方針を検討し、看護師など医療スタッフとも連携をしながら、最適な医療を提供できるよう努めています。また、多施設共同臨床試験・研究にも積極的に参加し、新規治療法の確立を目指しております。これまでの経験をいかして、がんプロ大学院生の教育を行っていきたいと思います。がんプロで育成された多くのがん専門医療人が地域の医療機関で活躍することにより、中国・四国地域におけるがん医療の均てん化とともに医療水準の向上を期待しています。

Report

第15回チーム医療合同演習

テーマ：「がん治療とサバイバーシップ支援」
日　程：令和5年10月6日（金）、7日（土）
会　場：徳島市医師会館　4階
参加者：61名

連携大学より、学生・教員が参加し、「がん治療とサバイバーシップ支援」をテーマに第15回チーム医療合同演習を行いました。

１日目には、田岡病院の沖津宏先生にお越しいただき、「現役医師が悪性リンパ腫を体験して」と題して特別講演を行っていただきました。

2日目には、多職種が混在した8グループに分かれて２症例（「症例1:FGFR2遺伝子異常を伴う進行胃癌の一例」「症例2:妊娠期乳癌の１症例」）を討議し、グループごとに討議内容の発表を行いました。

参加者からはディスカッションを通して多職種連携の重要性、がん患者への治療支援の方法についてとても勉強になった、などの感想が聞かれました。

プログラム

1日目　10月6日(金)

開始	終了	時間(分)	内　容	
18:00	18:25	25	受付	資料や名札の配布
18:25	18:30	5	開会挨拶	徳島大学大学院医歯薬学研究部　消化器内科学　高山 哲治 先生
18:30	19:30	60	特別講演	「現役医師が悪性リンパ腫を体験して」　田岡病院外科　沖津 宏 先生
19:30	19:40	10	写真撮影	集合写真撮影

2日目　10月7日(土)

開始	終了	時間(分)	内　容	
8:30	8:55	25	受付	資料などの配布
8:55	9:00	5	開会挨拶	岡山大学病院腫瘍センター　香川 俊輔 先生
9:00	9:05	5	**ワークショップⅠ** 「FGFR2遺伝子異常を伴う進行胃癌の一例」	本セッションの説明
9:05	10:10	65		各グループごとに討議・発表
10:10	10:15	5		セッションの解説、まとめ 徳島大学大学院医歯薬学研究部　消化器内科学　高山 哲治 先生
10:15	10:20	5	休憩	
10:20	10:25	5	**ワークショップⅡ** 「妊娠期乳癌の１症例」	本セッションの説明
10:25	11:30	65		各グループごとに討議・発表
11:30	11:35	5		セッションの解説、まとめ 徳島大学大学院医歯薬学研究部　胸部・内分泌・腫瘍外科学 滝沢 宏光 先生
11:35	11:40	5	まとめと閉会挨拶	本合同演習の総括・総評 出席証明書授与 閉会の挨拶

Activity report

活動報告

広 島　広島大学病院　在宅緩和ケア事業研修会

日　時：令和4年2月4日（金）　18:30～20:00
場　所：Zoomを用いたオンライン開催
参加者：82名
「住み慣れた地域で最期まで「生きる」を支えるために」
　ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス　ホーム長
　新国内科医院　顧問　がん看護専門看護師　宇野 さつき 先生

徳 島　臨床腫瘍外科学コースハンズオンセミナー

日　時：令和4年2月12日（土）　9:00～13:00
場　所：徳島大学　生物資源産業学部　創薬・医療機器開発施設
参加者：9名
「腹腔鏡手術における実践的対応力を鍛えよう」

高知県立　高知県立大学がん看護インテンシブコースⅠ ～高齢がん患者に安心をもたらすケアを創造していく訪問看護師育成～

研修期間：15日間
・講義/演習：10/2（土）、3（日）、24（日）、11/27（土）、28（日）、12/18（土）、19（日）、2022年2/13（日）
・所属施設での実践（所属施設の勤務日の中で実践日を3日間設定）
・見学実習：2022年1/11（火）～2/10（木）（このうち平日3～4日間）
場　所：高知県立大学池キャンパス
参加者：8名
研修目的：高齢がん患者の入院早期から退院後の生活を見通してケアを提供し、在宅医療の可能性と選択を広げることのできる看護職および、チーム医療を基盤とする在宅がん医療をコーディネートしていくことのできる、高齢がん患者とその家族のケアに関する専門的知識と技術を有する看護師の養成。

松 山　松山大学大学院医療薬学研究科　がんプロ第9回 公開講座

テーマ：薬剤師が主導するがん化学療法の副作用マネジメント
日　時：令和4年2月26日（土）　15:00～16:40
場　所：Zoomによるオンライン開催
参加者：107名
「ここがポイント！抗がん剤の味覚障害について」
　国立病院機構　呉医療センター薬剤部　副薬剤部長　田頭 尚士 先生
「よりよい悪心嘔吐マネジメントを探求する」
　福岡大学薬学部　臨床薬学教室　准教授　林 稔展 先生

岡 山　中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム市民公開講座 第6回 小児がんフォーラム in 岡山

テーマ：小児・AYA世代のがん患者の将来の選択肢を広げるために今できること
日　時：令和4年2月27日（日）　13:00～16:00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：114名
「入院中のこと、退院してからのこと」
　経験者２人の方に闘病のこと、退院後の生活についてお話しいただきました
「小児・AYA世代がん患者への看護支援の実際～将来のために今できる支援とは～」
　岡山大学病院　がん看護専門看護師　太田 佳男
「将来子どもを持つために：妊孕性温存治療の実際」
　岡山大学病院　産科・婦人科　樫野 千明
「小児・AYA世代がんの患者の将来を支える医療～治療中、治療後の支援を考える～」
　自治医科大学小児科・小児医療センター　教授　嶋田 明

岡 山　第22回 岡山大学医学物理コース（インテンシブ）地域連携セミナー

日　時：令和4年3月1日（火）　18：30〜20：00
場　所：Zoomによるオンライン授業
参加者：8名
「放射線治療品質管理基礎技術27（総合演習1）」
　岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科　笈田 将皇

広 島　広島大学病院　がん医療従事者研修会

日　時：令和4年3月4日（金）　18：30〜
場　所：Zoomを用いたオンライン開催
参加者：52名
「SCRUM-Japanが主導するがんゲノム医療開発」
　国立がん研究センター東病院　トランスレーショナルリサーチ支援室/消化管内科　中村 能章 先生
「共感と信頼で育まれる、患者力と主治医力〜双方向の対話でエビデンスとナラティブは意味を成す〜」
　福島県立医科大学　白河総合診療アカデミー准教授/白河厚生総合病院　総合診療科部長　東 光久 先生

広 島　第19回 広島臨床遺伝セミナー

テーマ：ポストコロナを見据えたゲノム医療の推進にむけて
日　時：令和4年3月5日（土）　14：00〜17：00
場　所：Web形式
参加者：90名
第1部：**「遺伝子診断に基づく難聴医療」**
　信州大学　名誉教授/信州大学　医学部人工聴覚器学講座　特任教授　宇佐美 真一 先生
第2部：**「難病診療向上への期待」**
　一般社団法人全国ファブリー病患者と家族の会　会長/日本ライソゾーム病患者家族会協議会　代表理事　原田 久生 様
第3部：**「我が国のがんゲノム医療展望：遺伝性腫瘍を含めて」**
　国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院　遺伝子診療部門長　吉田 輝彦 先生
　（特別発言）広島大学自然科学研究支援開発センター　教授　檜山 英三 先生

愛 媛　第4回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会
第5回 CAYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー

日　時：令和4年3月12日（土）　15：30〜17：40
場　所：ホテルマイステイズ松山2F　フェスタ
参加者：96名
特別講演1：**「小児・AYA世代がん患者の長期的健康管理」**
　国立国際医療研究センター病院　がん総合診療センター　副センター長
　乳腺・腫瘍内科　診療科長　清水 千佳子 先生
特別講演2：**「本邦における小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の現状と課題−がん・生殖医療ネットワークのさらなる展開を目指して」**
　聖マリアンナ医科大学　産婦人科学　教授　鈴木 直 先生

岡 山　第23回 岡山大学医学物理コース（インテンシブ）地域連携セミナー

日　時：令和4年3月15日（火）　18：30〜20：00
場　所：Zoomによるオンライン授業
参加者：9名
「極小照射野を取り巻く新たな潮流−近年の極小照射野測定に関する先行研究の紹介−」
　徳島大学大学院保健科学教育部　佐々木 幹治 先生

愛 媛　抗がん薬暴露対策WEBセミナー

日　時：令和4年3月16日（水）　18：30〜20：00
場　所：Teams配信
参加者：75名
一般講演：**「抗がん剤を安全に調製・投与するための当院での取り組み」**
　愛媛大学医学部附属病院　薬剤部　済川 聡美 先生
特別講演：**「本邦における曝露対策の現状とこれから」**
　独立行政法人国立病院機構　四国がんセンター　乳腺外科　臨床研究推進部長　青儀 健二郎 先生

岡 山　第24回 岡山大学医学物理コース（インテンシブ）地域連携セミナー

日　時：令和4年3月29日（火）　18：30〜20：00
場　所：Zoomによるオンライン授業
参加者：8名
「放射線治療品質管理基礎技術28（総合演習2）」
　岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科　笈田 将皇

愛 媛　第1回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会
第3回 愛媛県がんゲノム医療セミナー

日　時：令和4年7月14日（木）　19：15〜20：45
場　所：ANAクラウンプラザホテル松山南館2階　サファイアおよびオンライン開催
参加者：101名
【基調講演】：**「遺伝子パネル検査における当院の取り組み〜組織・リキッドの使い分け、院内データを踏まえて〜」**
　神奈川県立がんセンター　がんゲノム診療センター　センター長　廣島 幸彦 先生
【ディスカッション】
テーマ：**「遺伝子パネル検査実施の現状と課題について」**
ディスカッサント（順不同）
四国がんセンター　遺伝性がん診療科　山本 弥寿子 先生
愛媛大学医学部附属病院　腫瘍センター　特任講師　長谷部 晋士 先生
愛媛県立中央病院　乳腺・内分泌外科主任部長　松岡 欣也 先生
松山赤十字病院　臨床腫瘍科　部長　白石 猛 先生
高知大学医学部附属病院　乳腺センター　センター長　杉本 健樹 先生
高知医療センター　乳腺・甲状腺外科　科長　高畠 大典 先生
アドバイザー
神奈川県立がんセンター　がんゲノム診療センター　センター長　廣島 幸彦 先生

徳 島　がん栄養セミナー

日　時：令和4年7月23日（土）　14：20〜16：45
場　所：徳島大学蔵本地区　臨床講義棟1階第一臨床講堂　ZOOMライブ配信
参加者：146名
がん栄養セミナー①
「がんゲノム診療を知る」
　遺伝情報医学分野　講師　桑野 由紀 先生
がん栄養セミナー②
「婦人科がんの最新治療を知る」
　徳島大学病院がん診療連携センター長/徳島大学産婦人科学分野　准教授　西村 正人 先生

高知県立 がん看護インテンシブコース　がん高度実践看護師WG講演会 in Kochi

テーマ：がんと認知症を併せもつ患者の治療選択への意思決定支援
日　時：令和4年7月30日（土）　13：00～16：30
場　所：Web（Zoom）開催
参加者：214名
「認知症を併存している高齢がん患者の治療選択と意思決定支援」
　国立研究開発法人国立がん研究センター東病院　精神腫瘍科長
　精神腫瘍科先端医療開発センター　精神腫瘍学開発分野長　小川 朝生 氏
「がんと認知症を併せもつ患者のアセスメントと意思決定支援～治療選択に焦点をあてて～」
　聖路加国際大学教育センター/悠翔会在宅クリニック　がん看護専門看護師　田代 真理 氏

徳 島 Cancer Meeting in Tokushima 2022

日　時：令和4年8月13日（土）　14：00～16：15
場　所：徳島大学病院外来棟5階　日亜ホール「White（大）」
参加者：39名
Session1：**「がん研有明病院での遺伝子パネル検査の現状」**
　がん研有明病院　婦人科　副医長　阿部 彰子 先生
Session2：**「がんの診断と治療を指向した蛍光標識試薬の開発」**
　徳島大学大学院医歯薬学研究部薬科学部門創薬科学系分子創薬化学分野　講師　中尾 允泰 先生
「胃がんに対する新しい薬物療法」
　徳島大学大学院地域消化器総合内科学　特任教授　佐藤 康史 先生
特別講演：**「がんの近赤外光線免疫療法」**
　National Cancer Institute, National Institutes of Health　小林 久隆 先生

広 島 第20回 広島臨床遺伝セミナー

テーマ：エキスパートから学ぶ遺伝子診療の均てん化への取り組み
日　時：令和4年9月10日（土）　14：00～17：00
場　所：Web形式
参加者：90名
第1部：**「がん研有明病院における遺伝性腫瘍診療の取り組み：Gene Awarenessを目指して」**
　がん研有明病院　臨床遺伝医療部　部長　植木 有紗 先生
第2部：**「ダウン症のある娘と41年～娘から学んだこと～」**
　日本ダウン症協会　広島支部　えんぜるふぃっしゅ　副会長/NPO法人nicoloop（ニコループ）代表　藤山 節子 様
第3部：**「NIPTの遺伝カウンセリングを考える−遺伝カウンセラー養成に関わって−」**
　近畿大学総合理工学研究科　遺伝カウンセラー養成課程　巽 純子 先生

香 川 第28回 緩和医療に関する集中セミナー in 香川 せとうち緩和ケアチーム懇話会

日　時：令和4年9月16日（金）　18：00～20：00
場　所：高松国際ホテル瀬戸の間東中2階　ならびにオンライン配信
参加者：74名
「院内・在宅ホスピスでがん患者さんから学んだこと～大学病院からホスピスへ．2000人の看取りを通して～」
　医療法人山口会　高知厚生病院　緩和ケア科　部長　小栗 啓義
「在宅ホスピスのいろいろ」
　みのりクリニック　院長　蔵谷 弘子

岡 山 Global Oncology Online Seminar in 2022

日　時：令和4年9月28日（水）　19：00～20：00
場　所：Zoomによるオンラインセミナー
参加者：40名
「再発難治性多発性骨髄腫に対する新規抗BCMA CAR-T療法の体内動態」
　In vivo kinetics of novel anti-BCMA CAR-T therapy in patients with relapsed or refractory multiple myeloma
　ダナ・ファーバー癌研究所　メディカルオンコロジー部門
　リサーチフェロー　池川 俊太郎

愛 媛 第2回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 第83回 ヘルスアカデミー

ヒトの遺伝子を調べることの意味を理解する
市民公開講座～がんゲノム検査とは何か、どのように利用するのか～
日　時：令和4年10月2日（日）　13：00～15：20
場　所：いよてつ高島屋9階　ローズホール
参加者：18名
第一部　講演**「ゲノム検査とは？」**
講演1：**「がんと遺伝」**
　愛媛大学大学院医学系研究科　小児科学講座　教授　江口 真理子 氏
講演2：**「がんゲノム医療～少しでも早めに検査を～」**
　国立がん研究センター中央病院　副院長・先端医療科　科長・呼吸器内科
　医長・臨床研究支援部門長　山本 昇 氏
第二部　Q＆Aコーナー「あなたの疑問・質問にお答えします」

愛 媛 第3回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 愛媛大学医学部附属病院　緩和ケアセンター講演会

日　時：令和4年10月4日（火）　17：30～19：00
場　所：愛媛大学医学部40周年記念講堂　およびZoomによるライブ配信
参加者：68名（会場：17名　Zoom：51名）
「がんになっても安心して地域で最後まで過ごせる社会を目指して」
　横浜市　めぐみ在宅クリニック　院長　小澤 竹俊 先生

岡 山 オンライン市民公開講座「いま、医療はロボットの時代」

日　時：令和4年10月9日（日）　13：00～15：10
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：45名
「岡山大学発CT透視下穿刺ロボットの紹介」
　岡山大学学術研究院　自然科学学域　産業創成工学専攻　教授　松野 隆幸
「がんに対する低侵襲治療のためのロボット開発」
　岡山大学学術研究院　医歯薬学域　放射線医学　教授　平木 隆夫
「ロボット手術の現在と未来」
　岡山大学病院　低侵襲治療センター　講師　黒田 新士

広 島　広島大学病院　がん医療従事者研修会

日　時：令和4年10月13日（木）　18：30～
場　所：Zoomを用いたオンライン開催　広島大学病院　臨床管理棟3F大会議室
参加者：40名
「前立腺癌の薬物療法」
　広島大学大学院医系科学研究科　腎泌尿器科学　教授　日向 信之 先生
「ここまで来た放射線治療」
　広島大学大学院医系科学研究科　放射線腫瘍学　教授/広島がん高精度放射線治療センター　センター長　永田 靖 先生

松 山　松山大学大学院医療薬学研究科　がんプロ第10回 公開講座
松山大学薬学部　第25回 卒後教育講座

テーマ：がん免疫療法の実際
日　時：令和4年10月29日（土）　15：00～16：40
場　所：Zoomを使ったWeb開催
参加者：93名
「みんなで見守り隊～がん治療4本目の柱“免疫療法”で起こる副作用とは～」
　松山赤十字病院薬剤部　がん化学療法係長　橋本 浩季 先生
「がん免疫療法はここまで進化した!–遺伝子改変抗体療法の実際とその未来–」
　愛媛大学大学院医学系研究科　血液・免疫・感染症内科学講座
　プロテオサイエンスセンター　免疫制御学部門　特任講師　越智 俊元 先生

高知県立　高知県立大学がん高度実践看護師（APN）コース

テーマ：Cancer Trajectoryをたどる人のニーズに応える高度実践を創造する看護師養成
「がんゲノム医療における患者のケアとキュア」
日　時：令和4年　9月10日（土）、11日（日）
　　10月15日（土）、16日（日）
　　11月12日（土）、13日（日）
　　12月17日（土）、18日（日）
場　所：Web開催（Zoom）
参加者：56名
9月10日（土）、11日（日）：**がんゲノム診断治療学**
10月15日（土）、16日（日）：**がんゲノム看護基盤論**
11月12日（土）、13日（日）：**がんゲノム看護実践論**
12月17日（土）、18日（日）：**がんゲノム看護展開論**

愛 媛　第4回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会
がん疼痛セミナー in 愛媛

日　時：令和5年2月22日（水）　18：15～20：00
場　所：Zoomによるオンライン開催
参加者：91名
「Cancer trajectoryにおけるジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の位置づけ」
　医療法人響き会まつやま余戸南診療所　院長　大城 辰雄 先生/副院長　大城 久子 先生
特別講演
「がん性疼痛コントロールにおけるジクロフェナクナトリウム貼付剤の使いどころ～臨床試験・実臨床での使用経験をもとに～」
　済生会福岡総合病院　がん治療センター　副センター長兼外科部長　鹿田 康紀 先生

岡 山　中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム市民公開講座
第7回 小児がんフォーラム in 岡山

テーマ：小児・AYA世代のがん患者が大人になるために私たちができること
日　時：令和5年2月23日（木祝）　13：00～16：00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：102名
「退院後の生活と進学や就職のこと」
　経験者の方お二人にご自分の体験をお話しいただきました
「復学する子どもの身体とこころを支える保健室の先生」
　中学校　養護教諭（代理発表）
「自宅で過ごす子どもと家族の生活をサポートする」
　こども訪問看護ステーションゆい　管理者　山﨑 真弓
「晩期合併症を抱えた生活への支援」
　がん・生殖医療専門心理士、生殖心理カウンセラー　谷村 弥生
「妊孕性温存治療の今」
　岡山大学病院　産科・婦人科　樫野 千明
「小児がん経験者における長期フォローアップ～最近の試み～」
　岡山大学病院　小児科　鷲尾 佳奈

松 山　松山大学大学院医療薬学研究科　がんプロ第11回 公開講座

テーマ：在宅・緩和医療における薬剤師の役割
日　時：令和5年2月25日（土）　14：30～16：40
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：118名
「QOOL（Quality Of おうち Life）の向上へ、ACPを軸とした在宅緩和ケア連携」
　庄野薬局　庄野 由桂 先生
「緩和ケアチームにおける薬剤師業務～過去・現在・これからの未来について～」
　愛媛県立中央病院薬剤部　玉井 宏一 先生
「緩和医療における薬剤師の役割～シームレスな連携のすすめ～」
　愛媛大学医学部附属病院薬剤部　飛鷹 範明　先生

岡 山　第14回 歯科・口腔外科インテンシブコース

日　時：令和5年3月4日（土）　10：00～12：40
場　所：Zoom上でのオンライン開催
参加者：82名
「Multidisciplinary treatment for very advanced oral cancer」
　北海道がんセンター　口腔腫瘍外科　医長　上田 倫弘
「頭頸部がんに対するホウ素中性子捕捉療法」
　岡山大学中性子医療研究センター　准教授　井川 和代
「がん口腔支持医療へのニーズ–がん専門病院に勤務する歯科医師の立場から–」
　神奈川県立がんセンター　歯科口腔外科　医長　光永 幸代

徳 島　がんプロ専門医セミナー

日　時：令和5年3月8日（水）　18：30～20：00
場　所：徳島大学医学部　医学基礎B棟2階　基礎第二講義室
参加者：23名
「肝炎からの発癌とその予防対策」
　東京大学医科学研究所附属病院　病院長　四柳 宏 先生

愛 媛　第1回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 第7回 CAYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー

日　時：令和5年4月1日（土）　15：30～17：30
会　場：ANAクラウンプラザホテル松山南館２階　サファイア　およびZoomを用いたWeb配信
参加者：75名
特別講演1：**「がん拠点病院・地域におけるAYA世代支援の実践と課題」**
　大阪国際がんセンター　血液内科　診療主任/AYA世代サポートチーム　多田 雄真 先生
特別講演2：**「AYA世代のがん対策～これまでの取り組みと今後の課題～」**
　国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター　上席研究員　堀部 敬三 先生

広 島　第28回 広島放射線治療研究会

日　時：令和5年6月3日（土）　15：00～18：00
場　所：TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前　ホール
参加者：48名
特別講演：**「核医学的手法による腫瘍の画像診断と治療」**
　京都大学大学院医学研究科　放射線医学講座（画像診断学・核医学）
　教授　中本 裕士 先生

愛 媛　第3回 治療と仕事の両立支援セミナー

日　時：令和5年6月6日（火）　19：00～20：30
場　所：オンライン開催（Zoom）
配信会場：ANAクラウンプラザホテル松山本館3階　ローズ
参加者：47名
基調講演：　**「造血幹細胞移植とその後の生活・就労支援」**
　松山赤十字病院　副院長　藤﨑 智明 先生
「治療と仕事の両立支援～事例を通して医療と会社の連携の必要性を考える～」
　愛媛産業保健総合支援センター（両立支援促進員）　社会保険労務士　米子 真理 先生
特別講演：　**「同種造血幹細胞移植患者における就労支援～離職と復職の現状～」**
　伊那中央病院　腫瘍内科部長　黒澤 彩子 先生

広 島　第20回 広島がん薬物療法セミナー

日　時：令和5年6月10日（土）　14：00～17：00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：66名
一般講演：　**「irAEの早期発見のポイントとAe NAVIについて」**
　小野薬品工業株式会社　トOナース　工藤 はるか 様
「irAEに対する呉地区での取り組み」
　呉医療センター　薬剤部　田頭 尚士 先生
「外来化学療法におけるirAE早期発見に向けた取り組み」
　広島大学病院　薬剤部　寺谷 祐亮 先生
特別講演1：**「ICI治療総論」**
　広島市立北部医療センター安佐市民病院　がんゲノム診療科　部長　山北 伊知子 先生
特別講演2：**「地域連携で取り組むirAEマネジメント」**
　九州大学病院　薬剤部　南 晴奈 先生

徳 島　がん看護専門看護師コース　2023年 がん看護学合同セミナーⅠ

テーマ：がん患者におけるリンパ浮腫の病態生理と症状マネジメントの実際
日　時：令和5年6月11日（日）　10：30～18：00
場　所：徳島大学医学部保健学科　およびオンライン開催
参加者：14名
前半の部（中四国がんプロ院生のみ）
①**「リンパ浮腫の基礎知識」**
②**「リンパ浮腫の治療と医療保険制度」**
　徳島大学大学院保健科学教育部・リムズ徳島クリニック・看護師　高西 裕子 先生
後半の部（一般参加申込者参加OK）
①**「リンパ管・リンパ浮腫に関する病態生理」**
②**「リンパ節郭清後のリンパ系の解剖学的変化、リンパ浮腫の発生機序、病態生理」**
　Macquarie University Faculty Medicine, Health & Human Sciences
　Lymphatic Research Specialist・MD, PhD　須網 博夫 先生

高 知　第17回 がんプロ国際セミナー

日　時：令和5年7月7日（金）　18：30～19：30
場　所：高知大学医学部　低侵襲手術教育・トレーニングセンター
参加者：13名
テーマ：**「地域医療について」**

広 島　広島大学病院　緩和ケア研修会

日　時：令和5年7月9日（日）　9：00～16：55
場　所：広島大学病院
参加者：35名

愛 媛　第3回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 Evidence Update セミナー　Cancer Precision Medicine

日　時：令和5年7月19日（水）　18：10～19：40
場　所：愛媛大学医学部総合教育棟2階　第2ゼミナール室
参加者：18名
Session1
「愛媛大学のがん遺伝子パネル検査とがん治療の現状について」
　愛媛大学大学院医学系研究科　臨床腫瘍学講座　教授　薬師神 芳洋 先生
　愛媛大学医学部附属病院　腫瘍センター　助教　山本 将一朗 先生
Session2～Webinar Live上映～
「患者さんにもっと治療を届けるため、ゲノムプロファイリングにできること」
標準治療前に遺伝子パネル検査を施行する先進医療B　FIRST-Dx試験から見えるもの
　京都大学大学院医学研究科　腫瘍薬物治療学講座　教授　武藤 学 先生

山 口　第136回 山口大学病院がんセミナー

日　時：令和5年7月19日（水）　17：30～18：15
場　所：ZOOM開催
参加者：21名
「irAE：内分泌・代謝障害について」
　山口大学第三内科　講師　秋山 優 先生

山口　第9回 山口大学がんプロ看護CNS事例検討会

日　時：令和5年7月21日（金）　13：00～14：30
場　所：山口大学医学部　医修館5階セミナー室
参加者：5名
九州労災病院　がん看護専門看護師　中藤 ゆか 先生

徳島　がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima 2023年度 がん看護インテンシブコースII

日　時：令和5年7月22日（土）　13：30～16：00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：25名
がん患者のがんリハビリテーションのニーズに応える高度な看護実践
「がんロコモ～がんになっても動き続けるためには？～」
　　徳島大学大学院医歯薬学研究部　脊椎関節機能再建外科学　特任准教授　西庄 俊彦 先生
「維持・緩和期にあるがん患者のニーズに応える高度な看護実践」
　　徳島大学病院　緩和ケア認定看護師　がん看護専門看護師　松岡 由江 先生

高知県立　がん高度実践看護師（APN）セミナー

■第1回
日　時：令和5年6月1日（木）　18：30～20：30
場　所：高知県立大学池キャンパス　看護学部棟C322演習室
参加者：5名
「大学院での学びとCNS認定までのプロセス」
「大学院修了後の臨床での活動」
■第2回・第3回は中止
■第4回
日　時：令和5年7月26日（水）　18：30～20：30（延期）
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：4名
「コンサルテーションの役割」
■第5回
日時：令和5年7月6日（木）　18：30～20：30
場所：高知県立大学池キャンパス　看護学部棟C322演習室
参加者：4名
「倫理調整の役割」
■第6回
日　時：令和5年7月14日（木）　18：30～20：30
場　所：高知県立大学池キャンパス　看護学部棟C322演習室
参加者：2名
「教育の役割」
■第7回
日　時：令和5年7月21日（木）　18：30～20:30
場　所：高知県立大学池キャンパス　看護学部棟C322演習室
参加者：2名
「研究の役割」

徳島　がん栄養セミナー

日　時：令和5年7月29日（土）　15：00～17：30
場　所：徳島大学蔵本キャンパス　臨床講義棟1F第一臨床講堂　ZOOMライブ配信
参加者：129名
がん栄養セミナー①
「がん患者の栄養アセスメント」
　　徳島大学名誉教授・吉野川病院　中屋 豊 先生
がん栄養セミナー②
「がん化学療法時の高血圧とその管理」
　　埼玉医科大学　内分泌・糖尿病内科　教授　一色 政志 先生

愛媛　第4回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 第4回 愛媛県がんゲノム医療セミナー

日　時：令和5年8月10日（木）　19：00～20：30
場　所：ホテルマイステイズ松山3階 ドゥエミーラ　およびオンライン開催
参加者：57名
一般演題：**「愛媛大学における肺癌CGP検査の現状」**
　　愛媛大学医学部附属病院　腫瘍センター　助教　山本 将一朗 先生
　　「当院における肺癌CGP検査の状況と治療に結びついた事例の紹介」
　　四国がんセンター　呼吸器内科　医長　原田 大二郎 先生
特別講演：**「臓器横断的な薬剤開発の現状」**
　　奈良県立医科大学　がんゲノム・腫瘍内科学講座　教授　武田 真幸 先生

山口　第10回 山口大学がんプロ看護CNS事例検討会

日　時：令和5年8月23日（水）　13：00～14：30
場　所：山口大学医学部　医修館5階セミナー室
参加者：5名
がん看護専門看護師　岩月 まり子 先生

広島　薬剤師対象　がん診療連携研修会

日　時：令和5年8月24日（木）　19：00～20：00
場　所：広島県薬剤師会館2階　ふたばホール
参加者：35名
「肺がん治療における薬剤師の関わり方」
　　広島大学病院　薬剤部　滝沢 大吾 先生
「薬局薬剤師と協働して進める外来がん治療～薬薬連携の充実に向けて～」
　　広島大学病院　薬剤部　小平 詩織 先生

愛 媛　第5回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 第8回 CAYA世代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー

日　時：令和5年9月1日（金）　19：00～20：40
場　所：ANAクラウンプラザホテル松山本館4階　ガーネット　およびオンライン開催
参加者：91名
一般演題：「四国がんセンターにおけるAYA世代・妊孕性温存への取り組みの現状と課題」
　　国立病院機構　四国がんセンター　看護部　宮脇 聡子 先生
「がん患者の妊孕性温存に関する当院の取り組みと課題」
　　松山赤十字病院　看護部　中田 裕子 先生
「医学的適応の精子凍結保存において遺伝学的な問題を有した2例」
　　愛媛大学大学院医学系研究科　産科婦人科学講座　助教　安岡 稔晃 先生
「妊孕性温存を希望されたAYA世代の乳癌2症例を経験して考えること」
　　今治第一病院　乳腺甲状腺外科　戸田 茂 先生
「緩和ケアスクリーニングシートから見えた、AYA世代支援チームの課題について」
　　愛媛県立中央病院　AYA世代がん支援チーム　永井 功造 先生
「当院におけるがん・生殖医療の取り組みと現状について」
　　医療法人　矢野産婦人科　院長　矢野 浩史

広 島　広島大学病院　がん医療従事者研修会

日　時：令和5年9月1日（金）　18：30～20：00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：36名
「外来化学療法室における課題血管外漏出や多職種連携の視点から」
　　広島大学病院　看護部　がん化学療法看護認定看護師　清本 美由紀 先生

広 島　広島大学病院　在宅緩和ケア研修会

日　時：令和5年9月8日（金）　18：30～20：00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：140名
「終末期医療における倫理的問題」
　　東京大学大学院医学系研究科　医療倫理学分野
　　准教授　瀧本 禎之 先生

高 知　高知大学　がんプロ講演会

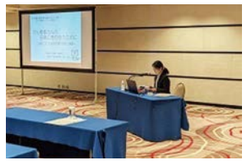
日　時：令和5年9月14日（木）　18：00～19：00
場　所：高知大学医学部附属病院　低侵襲手術教育・トレーニングセンター（レジデントハウス1階）
参加者：28名
「減量・代謝改善手術の今後の展開−癌治療との連携も含めて−」
　　北里大学医学部　下部消化管外科学　主任教授　内藤 剛 先生

山 口　第137回 山口大学病院がんセミナー

日　時：令和5年9月27日（水）　17：30～18：15
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：13名
「間質性肺炎について」
　　山口大学　呼吸器・感染症内科　助教　山路 義和 先生

香 川　第29回 緩和医療に関する集中セミナー in 香川

日　時：令和5年9月29日（金）　19：00～21：15
場　所：高松国際ホテル　讃岐の間　ならびにオンライン配信
参加者：47名
1.「がん患者さんの苦痛に寄り添うために
　　～当院における患者支援の現状と課題～」
　　高松赤十字病院　看護部　看護係長　緩和ケア認定看護師　酒井 智子
2.「リソース不足は工夫でカバー？
　　“早期からの在宅緩和ケア”×“緩和ケアアウトリーチ”という方法の提案」
　　やまと在宅診療所　登米　院長　田上 恵太



高知県立　がん高度実践看護師特別講義

日　時：令和5年9月30日（土）　13：00～16：00
場　所：オンライン開催（Zoom）
参加者：6名
「がん看護専門看護師の実践と役割開発」
　　独立行政法人国立病院機構　長崎医療センター
　　がん看護専門看護師　田中 圭 氏

広 島　第21回広島がん薬物療法セミナー

日　時：令和5年9月30日（土）　14：00～17：10
場　所：広島大学病院　たんぽぽ保育園2階　カンファレンス2
参加者：52名
一般講演：「がん患者の服薬支援における患者特性を考慮した当院薬剤部の取り組み」
　　広島市民病院　薬剤部　西本 早紀 先生
「がん患者の服薬支援における患者特性を考慮した保険薬局の取り組み」
　　広栄薬局基町店　正木 研 先生
「まずはチャレンジ！！患者特性を考慮した症例を書いてみよう！泌尿器編～誰だって苦手なんです～」
　　市立三次中央病院　薬剤科　熊澤 崇 先生
特別講演：「泌尿器がんの薬物療法」
　　広島市民病院　泌尿器科主任部長　江原 伸 先生

愛 媛　第6回 愛媛大学がんプロフェッショナル養成インテンシブコース講習会 愛媛大学医学部附属病院　緩和ケアセミナー

日　時：令和5年10月6日（金）　17：30～19：00
場　所：愛媛大学医学部臨床第2講義室　およびオンライン開催（Zoom）
参加者：72名（会場：12名　Zoom：60名）
「人生の最終章を輝かせる緩和ケア～死から生といのちを考える、あなた自身のケア～」
　　昭和大学医学部　医学教育学講座　客員教授　髙宮 有介 先生

山口　第1回 がん治療スキルアップセミナー

日　時：令和5年10月10日（火）　17：30〜19：30
場　所：山口大学医学部霜仁会館3階　多目的室
参加者：10名
「がん性疼痛の発生機序、がん患者の疼痛アセスメントについて」
　山口大学附属病院　麻酔科蘇生科　緩和ケアセンター　山縣 裕史 先生

山口　第2回 がん治療スキルアップセミナー

日　時：令和5年10月17日（火）　17：30〜19：30
場　所：山口大学医学部霜仁会館3階　多目的室
参加者：14名
「がん性疼痛に対する薬物療法」
　山口大学附属病院　麻酔科蘇生科　緩和ケアセンター　山縣 裕史 先生

松山　松山大学大学院医療薬学研究科　がんプロ第12回 公開講座

テーマ：社会実装を目指したがん基礎研究
日　時：令和5年10月21日（土）　14：30〜16：10
場　所：Zoomを使ったWeb開催
参加者：65名
「麻黄湯や麻黄のがん治療への応用の可能性」
　北里大学　薬学部附属東洋医学総合研究所　漢方臨床研究室　日向 須美子 先生
「臨床応用に向けた健康寿命延伸物質探索評価系の樹立」
　松山大学大学院医療薬学研究科　中島 光業 先生

山口　がん看護高度実践看護師WG講演会 in Yamaguchi

日　時：令和5年11月7日（火）　17：00〜18：30
場　所：山口大学医学部霜仁会館3階　多目的室
参加者：13名
「AYA世代がん患者への支援」
　岡山大学病院　腫瘍センター　がん看護専門看護師　太田 佳男 先生

島根　さんいん遺伝医療ネットワーク発セミナーvol.1 遺伝医療の世界へようこそ〜症例を通して一緒に考える〜

日　時：令和5年11月11日（土）　10:30〜
場　所：島根大学医学部附属病院ゼブラ棟2階　だんだん　Zoomによるweb開催あり
対象者：医療従事者、遺伝医療に興味のある大学生
参加者：50名
■近年の山陰地方における遺伝医療の動向
■遺伝医療に携わる医療者のやりがい・エピソード発表会
　臨床遺伝専門医、看護師・認定遺伝カウンセラー、がん専門相談員
■ジレンマセッションの紹介
　倫理的問題や対応が困難な症例を通し学びを深める
■症例①周産期関連
■症例②腫瘍関連

島根　Gene Awareness Week 大作戦 「遺伝医療を知り、がん死を減らす！！」シンポジウム

日　時：令和5年11月11日（土）　14：00〜16：00
場　所：島根大学医学部附属病院　ゼブラ棟2階　だんだん　Zoomによるweb開催あり
対象者：島根県内の医療従事者・当事者団体の方
参加者：100名
「遺伝を知ることでがんを予防する」〜地域医療・家庭医療としてのがん予防 in 島根〜
　岡山大学学術研究院医歯薬学域　臨床遺伝子医療学分野　教授・臨床遺伝専門医　平沢 晃 先生
「島根県における遺伝性腫瘍患者さんへの関わり」〜心理社会的支援の必要性
　松江市立病院　ゲノム診療部　看護師長・認定遺伝カウンセラー®　竹下 美保 先生
「島根に生きる人に継承されるものとは」
　島根県出身　映画監督　錦織 良成 氏

山口　第138回 山口大学病院がんセミナー

日　時：令和５年11月15日（水）　17：30〜18：15
場　所：ZOOM開催
参加者：18名
「高齢がん患者に対する薬物療法」
　山口大学　腫瘍センター　准教授　井岡 達也 先生

高知　がんゲノム医療webセミナー

日　時：令和5年11月20日（月）　17：30〜19：00
場　所：ハイブリット開催　高知大学医学部附属病院（臨床講義棟2階　第3講義室＆Zoom）
参加者：46名
「がんゲノム医療とは」
　産科婦人科　牛若 昂志 先生
「がん遺伝子パネル検査の流れ」
　がんゲノム医療コーディネーター　小松 美帆 先生
「検体の管理と流れ」
　病理診断部　高野 隼 先生
「生殖細胞系列の所見について」
　認定遺伝カウンセラー®　田代 真理 先生
「がんゲノム医療における今後の展望と課題」
　腫瘍内科　粟岡 勇輔 先生